

3 番 瀬 戸

受付番号第3号、質問議員3番、瀬戸伸二。

件名。1、「商業施設を起点とした循環バス運行を」。

2、「旧駅前交番、新体育施設の活用を」。

1、山北駅周辺では、閉店する商店が多く日常生活に苦慮していると聞いているが、買物を手助けする上で、公共交通の整備が重要であると考え質問する。

①東山北周辺の商業施設では、循環バスを利用者の乗降が多い。日中の時間帯において商業施設を起点としたダイヤ編成をしてみてはどうか。

2、山北駅北側は、昭和レトロな町並みが広がり、町の重要な財産である。このレトロ感を残しつつも山北駅北側の開発が必要と考え質問する。

①山下駅前交番の跡地の利用計画はあるのか。

②新山北体育施設は、山北駅北側のランドマークにすべきと考える。その上で、施設の活用方法が重要と考えるがいかがか。

以上です。

議

長

答弁願います。

町長。

町

長

それでは、瀬戸伸二議員から「商業施設を起点とした循環バス運行を」、「旧駅前交番、新体育施設の活用を」についての御質問をいただきました。

初めに1点目の御質問の「東山北周辺の商業施設では、循環バス利用者の乗降が多い。日中の時間帯において、商業施設を起点としたダイヤ編成をしてみてはどうか」についてであります。近年、山北駅周辺には食料品や日用品を購入できる店舗が減少しているため、山北町内循環バスを利用して東山北駅周辺にある大型商業施設やドラッグストアなどで買物をされる方が増えております。

町では、このような状況を踏まえ、最寄りのバス停、バス停留所にベンチを設置するなどして、循環バスを利用して買物をされる方の利便性の向上に努めてまいりました。山北駅周辺にお住まいの方が平日、町内循環バスを利用して、東山北駅周辺の商業施設で買物をする場合、行きを南部循環東回りを、帰りを南部循環西回りを利用した場合、1日5便が運行されており、商業施設最寄りのバス停留所で下車し、帰りのバス出発までは40分から70分の

待ち時間があるため、その間に買物をしていただくという考えております。  
なお、町内循環バスは山北、向原、岸地区の幹線道路を循環して運行しているため、どこを起点にしても利用者にとって新たに大きなメリットは発生しないと考えておりますが、JR御殿場線との乗り継ぎや車両の待機スペースなどの面から、バスの起点については、現状の山北駅が適当であると考えております。

次に、2点目の「旧駅前交番、新体育施設の活用を」について、1番目の御質問の「山北駅前交番跡地の利用計画はあるのか」についてであります。松田警察署に確認したところ、駅前交番の建物については、現在アスベスト含有量調査を実施中であり、調査後、県の財産経営課に移管するとのことであります。その後、予算が確保でき次第解体撤去し、以降県での利用予定は未定であるとの回答をいただきました。町では、今後この跡地を利用する予定はございませんが、県がどのように利活用するか注視してまいります。

次に、2番目の御質問の「新山北体育施設は、山北駅北側のランドマークにすべきと考える。その上で、施設の活用方法が重要と考えるがいかが」についてであります。町では、旧山北体育館代替体育施設建設について、昨年度「スポーツを楽しむ、コミュニティを深め、ウェルネスを創造」という基本計画に基づいた施設設計コンセプトの下、町民に愛され、長期にわたり、地域コミュニティの中心となる体育施設づくりを目指し、基本設計を行いました。施設中央のホールを挟み東側に軽スポーツなどの利用を想定し、西側には畳敷きの武道などの利用を想定したスポーツ空間を配置しております。

施設は山北町の町並みの歴史や景観に配慮しつつ、敷地南側の桜並木、北側の駅前通りから気楽に立ち寄りやすい施設とするために、透過性の高い出入口を設けるなどの配慮もしております。また、閉館時間帯での一定時間内において、トイレの使用も可能なように考えております。

そして、施設北側の駐車場に面した場所に防災倉庫や非常用発電機の接続盤を設置し、地域の安心を支える災害拠点としても利用できるような計画となっております。

このほか、広大な森林が広がる本町において、町産材を活用したSDGs、環境、木育にも配慮した木造建設が完成することで、本町にふさわしい象徴

的建造物になると考えております。

今後、実施設計を進めていく中で、町民の利便性に配慮した内容・設備等を検討していくとともに、脱炭素社会の実現へ向けた、多くの町産材を活用した公共建築物、その森林の健全化に貢献した先進的な取組もアピールし、町内外から注目してもらい、町の活性化や林業振興にもつながる施設にしたいと考えております。

また、施設の活用方法として、武道をはじめダンスやヨガなど軽スポーツを行うほか、子育て世代が子どもを見守りながら情報交換をする場、自治会やグループでのミーティングの場、そして災害など有事に拠点としての利用など様々な活用方法が考えられます。

このように子どもから高齢者までの幅広い年代に親しまれ、町民一人ひとりが「よりよく生きる」、まさに「ウェルネスを創造する」という幅広い目的に合う施設となるよう取り組んでまいりたいと考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 まず最初の循環バスのことなのですが、循環バスの導入については十分承知しております。ただ、ここ10年、山北の風景が変わったということも事実であります。

答弁にもありましたように、駅前周辺では商店が閉店した。むしろ東山北周辺の施設にお客様が流れたというのも事実です。やはりここ10年変わったということで、商業施設を起点とした、むしろ商業施設にバスターミナルを設けてもいいんじゃないかなろうかと私は思ってるんです。

この間もそうなのですが、買物をして出てこられたお客様がバス停に並ばれてると。そこベンチはありますが、この炎天下、何も日を避ける施設がないまま待たれているというような状況もあります。むしろ、商業施設がバスターミナルであれば、バスの中に一時避難できるというような、そういう部分もあろうかと思えます。今後また寒くなって木枯らしが吹く中、またバス停で待たれるのか、バスで待つのか、その辺も違ってこようかと思えますので、ここ10年、状況が変わったということを踏まえて、もう一度御検討いただけたらなと思うんですが、いかがでしょうか。

議 長 町長。

町 長 商業施設のバスターミナルというのは、いろいろな検討したときにいろいろな問題があります。まずはそのスペース、商業施設がお借りしてるわけですから、それをどういうふうに使えるかという、今御覧のように、決して駐車場が余ってるというようなことではないのがまず一つ。それから、分かっているとありますが、入るのはいいんですけど出るときに左側なんです。右折ができないということですから、南部の周りしか、5便か7便しかできないというようなことで、逆回りのほうは結局、向こうへ曲がれませんので、できない。だからいろいろな制約もございますし、何より、そのところで、中に入らなければいけないというのは、それほど何ていうんですか、入れれば一番いいんでしょうけど、非常に問題が多いということで、できれば、今の停留所を、若干これからもう少しよくしていくとか、そういったようなことはやっていきたいというふうに思いますが、実際、中に止めるというのは、なかなかハードルが高いというふうに考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 地域公共交通会議が今開かれてると思いますが、循環バス、もしくはデマンドタクシーを含めた形での買物支援という部分がどのようにお考えになってるのでしょうか。

議 長 企画総務課長。

企 画 総 務 課 長 今、地域公共交通会議のお話なんですが、まず町民の方に今アンケートを取って、どういうニーズがあるか。まず、その検証が先だということで、会議のほうを進めておりますので、まだ今議員さんが言われた質問のところのちょっと前という形で議論をまだ進めております。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 その中で、循環バスをデマンドバスのような形での運行というものは、考えていらっしゃいますでしょうか。

議 長 企画総務課長。

企 画 総 務 課 長 はい、ですからまだこれからアンケートを取って、循環バスだけじゃございませんので。ほかの公共交通、そういうものも含めて何が必要かというのを、これから議論のほうをしていくことになっております。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 先日、大分県のほうのデマンドバスの状況をテレビで見たんですけど、デマンドバス、デマンドタクシーもそうなんですけれど、必要な時間、必要とする人が必要な時間に乗れると。要するに、今の循環バスという空気を運ぶような状況がなくなるよというような話も出てましたんで、ぜひデマンドタクシー、デマンドバスを含めて御検討いただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。

議 長 企画総務課長。

企画総務課長 はい。今議員さんのほうから提案があったように非常に、小回りが利いたり、町民サービスが高まるような地域公共交通、生活交通のほう、しっかりと議論をしていきたいと考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 交通に関しては買物だけではなく通院とか、様々な面で公共交通が必要になってこようかと思えます。今後やっぱり心配される部分では、免許返納者の対応という部分も、重要になってこようかと思えます。

町民から聞くところによると、今は運転できるからいいけども。もし、免許を返納したときに買物はどうするんだ、通院はどうするんだ、それが心配だという声もあります。ぜひとも、地域公共交通会議の中で、その辺も含めた検討をぜひお願いしたいと思えますので、よろしくをお願いします。

議 長 企画総務課長。

企画総務課長 はい。その辺は、しっかりと議論のほうを進めています。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 次に入りますが、交番の関係なんですけれど、以前、ほかの議員の方が駅前開発について質問したときには、地権者があることなんで、なかなか町として入っていけないというような話をされてました。今回は、交番と新体育施設二つの施設に絞って、ちょっとお話しさせていただきたいと思えます。

まず1点目の交番の跡地なんですけれど、公共施設、交番は県のものなんですけど、公共施設が使われてないと、町民はもったいないと。そういう意識が多いと思えます。実際にもったいないという声が聞かれています。交番のあるところは、やっぱり立地条件もよいということで、何か利用できないのかというような町民の声があります。答弁では、今計画はないということな

のですが、今後の見込みとして、県がどういうふうにするかが一番重要なんです、町として、意見具申をすることは可能でしょうか。

議 長 地域防災課長。

地域防災課長 以前も、一般質問で議員さんから御質問があったかと思うんですが、昨年ちょうど1年前に、質問があった際にちょっと調べてみました。そのときは、松田警察署のほうに調査をかけたときに事前に、町民の方から、こういった御提案がありました。現在の交番の周りがベニヤで囲われていて、見た目があまりよくないため、きれいな絵を描いて差し上げたいといったような申出がありました。そのときにちょっと県、警察のほうに問い合わせしてみたんですが、やはり県の所有する財産ということで、そのベニヤ板に絵を描くだけであっても、寄付行為、絵を寄付するような行為に当たるということで、大変手続が面倒だというお話をいただいて、そこの辺のありがたいお話でしたが、そこら辺なところに絵を描くということにはちょっと実現ができないということが分かりました。その後、ほかの議員さんからもそういった質問をいただいておりましたが、その質問の一般質問ときにも、やはり町では今のところ活用の予定はございませんというような回答をさせていただいた経緯でございます。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 先ほど申しましたけど、立地条件がすごくいい場所なので絵もそうなんです、私が町民から聞いたところには、町の観光案内みたいなポスター貼ったらどうかなんていう声も聞いております。できれば、町から口添えをいただいて、県のほうを動かすような働きをしていただいたほうが、県がどういうふうにするか決まるまでの間、やっぱり町にある施設でありますので、何とか利活用の方法を考えてみたらいかかと思うんですが、その辺いかがですか。

議 長 町長。

町 長 基本的に場所はいい場所だと思うんですけど、面積があまりにも小さくて、駐車場や何かにするにしても、あるいは今おっしゃったような観光案内ですか、それにしても、やっぱり駅から正面にずっと歩いていかなければいけないというようなことを考えると、しかも国道県道を渡らなければいけないと

いうことを考えると、やはり町としては、優先順位はかなり後ろのほうに行くのではないかなというふうに考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 これも町民からの意見なんですけれど、生涯学習センターの2階に、文化財の展示をしてあると。むしろ文化財を特化した施設も必要じゃなかろうかというような話も聞いております。交番がどうなるか、ちょっとその辺分からないんですけれど、文化財資料館、文化財資料館みたいなものを、駅周辺に造ったらどうかという意見もありますので、その辺はお伝えしておきます。

もう一つ、近隣の人からお話を聞く中で、ちょっと気になることがあったんですが、交番がなくなって、治安が悪くなったと。具体的には、事務所荒らしとか、または御殿場線をまたぐ陸橋の下の防災倉庫の付近で、人がたまって、ごみを散らかしているというような状況を聞いておりますが、その辺、町は把握してますか。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 空き巣等の案件については、署のほうから情報いただいたりしておりますので、そこら辺を承知しておりますが、防災倉庫とかそこら辺の関係については、ちょっと情報は入手してございません。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 意見を発するだけにとどめますが、町民からすると、防犯抑止のために防犯カメラを設置してほしいような意見も聞いておりますので、心に留め置いていただければ幸いです。

次に、体育施設の関係にまいります。

体育施設について、進捗状況はこちらのほうに書かれているんですけど、町民の意見の中に、ジムのなものが欲しいよという意見があったんですけど、その辺は却下されてるというような形になってますが、答弁を見る限り、ここで本当に軽スポーツしかできないのかと。本当に体育施設としての役割を果たせるのかというような意見も聞いてますが、その辺どうお考えでしょうか。

議 長 生涯学習課長。

生 涯 学 習 課 長 基本設計で、基本計画で、町民の方、御意見も踏まえた中で、施設のコン

セプト、こちらにつきましては武道、軽スポーツ、それからコミュニティ施設、それから災害の拠点ということで決定しております。

武道、軽スポーツができるのかというお話でございますが、この体育施設の建設を機に、新たな軽スポーツのサークル、それからスポーツの仲間をつくりまして活動していただくようなことも健康の保持増進、それから未病改善などを考えますと、よいことだと考えております。

以上です。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 トレーニングジムとなると、やっぱりインストラクターが必要になってきて、なかなかその辺難しいことかと思うんですが、あるほかの自治体の公民館でそういうことをやっているというようなことも聞いております。やっぱり、施設というか器具があれば利用する人も増えてこようかと思えますんで、何か器具を使ったものを置くことも可能じゃなかろうかなと思うんですが、インストラクターがいなくてもできるような機材が必要ではなかろうかと感じるんですが、いかがでしょうか。

議 長 生涯学習課長。

生涯学習課長 今、瀬戸議員のほうから、ウエートトレーニングの場にしてほしいという御意見もあるということでございますが、体育施設につきましては令和元年度、2年度で行われました、先ほど申し上げた検討委員会でございますが、施設内にトレーニングジムを設けることも検討の中にありました。

ただ、限られた空間の中で、武道場と軽スポーツ、会議を行う多目的を持った多目的室を設ける。こちらを最優先に考えた結果、スペースの確保というのが困難であったため、設置しない方向で決定はいたしました。今後、将来的に実際に建物が完成をして、稼働した際には、またそういった町民の御意見があるようでしたら、そちらのほうについても検討してまいりたいと考えております。

以上です。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 ぜひとも、町民の意見を聞いた上での稼働をお願いしたいと思います。それと、この施設について、やっぱり稼働率が重要な、重要になってこようか



と思いますが、例えば学習センターでは稼働率はどのぐらいになってるんでしょうか。

議 長 生涯学習課長。

生涯学習課長 生涯学習センターの稼働率といいますか、利用率でございますけれども、本当に生涯学習センター、町内外の方が、たくさんの御利用がございます。多目的ホールにおきましては、年間、昨年度でございますが、293日の開館日のうち、202日。また、町の行事等で利用しているパーセンテージは70%ぐらいというところでございます。多目的ホール以外にも、会議室が第1、第2、第3会議室ございます。そちらにつきましては年間279日の利用がございまして、約95%の利用率でございます。

ちょっと詳細までお伝えしますと、利用登録団体につきましては21団体ございます。それからセンターのサークルについては7団体ございます。それと町の各課の事業も含めまして、必ずどこかの団体が利用していただいているというような状況でございます。

以上です。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 会議室等を含めると大体80%ぐらいかなという感じがするんですけど、やっぱり新体育施設も、そのぐらいの稼働率を上げていかないとまずいと思うんですよ。その上でやっぱり町民からどういう利用をしたいかというような意見を伺うことも必要かと思うんですが、町長は完成までに、町民からの利用計画等を聞かれるチャンスはあるんでしょうか。

議 長 町長。

町 長 我々のいろいろな行政の稼働率でございますけど、私はやはりそれが非常に大事だというふうに思ってます。山北の施設の中で一番、福祉センターが一番稼働率が多分高いだろうと。それから今度生涯学習センターということで。私も生涯学習センターを変えるときに、各施設の中の多目的室がどのくらい使ってるか、図書室あるいはその会議室、和室、それから自習室。各ものをどういうふうにすれば一番稼働率が上げるかというようなことを検討して、いろいろなことをやっております。

その中で今回の山北の体育館の新しい施設でございますけども、やはり皆

さんで使って、いろいろなものを使って、稼働していただく、稼働率を上げていただくというのは、今のところ、私はこういうやり方が一番いいのではないかなというふうに思ってます。私もいろんなところを視察しましたがけれども、瀬戸議員がおっしゃるような、こういったフィットネスとかいろいろなものについて、ほとんど民間委託にしています。

例えば、かつて何ていうんですか、どっかがあったところを貸したりして、いろいろなフィットネスであるとか、いろんなものを、需要はあるというふうには思いますが、それを行政のほうがやるというのは非常に稼働率が悪いというふうに思っております。私も実際にそれをやったことがございまして、見てみますと、やはりけがするんですよ、非常に。ほっぽって、勝手にやらせてやりますと、7割から8割の方がけがしちゃいます。ですから当然その指導者なり、何か置かなきゃいけないというようなことを考えますと、そういったような施設というのは、やはり民間でやっていただくのが一番いいのではないかなと思ってます。行政でそれをやりますと、やはりどのくらい赤字になるか分かりませんが、かなり稼働率に関しては非常に上がらなくて、非常にリスクが高いというふうに私は判断しております。そういったようなものについては、できれば民間のほうが来ていただけるような、そんなようなことを考えていきたいというふうに思っております。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 体育施設については、私はランドマークという表現をさせていただいたんですが、回答にもあるように、本町にふさわしい象徴的な建物になるかと考えているというような回答でありますけれど、実際に体育施設がランドマークとして、駅北側の発展に結びつけるような働きをできるのかどうか、その辺、町長はどのようにお考えでしょうか。

議 長 町長。

町 長 私としては、今までの例えば武道であるとか、そういった、あるいは地域のコミュニティ、あるいは災害時に避難所として、そういった機能では十分果たしていけるというふうに思っておりますけれども、そのところがランドマークになるためには、やはり外部の人たちが施設として立ち寄っていただく。だから例えば山登り行く、サイクリング行く、いろいろなときに、そ

のキー、出発点、あるいはまた帰りになるようなそういうような施設にならないとなかなか難しいと思っております。

今現在、福祉センターが峠走りとかああいったところの起点になっておりますし、そういった意味では、ランドマークとして機能するためには、やはりそれに見合うだけの、何かここへ来て、出発点としてやったほうがいい、ここに来ればできますよというようなものがあるのは、多分ランドマークとしては非常に有効ではないかというふうに考えております。ただ、施設だけがあるだけではランドマークにはなかなかならないというふうに思います。そういったことも含めながらまた検討を進めていきたいというふうに思っております。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 体育施設がランドマークになるかどうか、私は表現したんですけどちょっとその辺も不安なんですけど。実際には、山北駅の北側というのは、リード文で申しましたように、昭和レトロな町並み、それが本当のランドマークかなと思っております。山北駅北側の活性化については計画そのものがちょっと見えてこないんですけど、今松田町では新松田駅周辺の再開発が話題になって、再開発の準備組合が発足したというような話になっております。ただ、山北に対してはその駅北側について、計画そのものがないということで、組織を発足することもなかろうかと思うんですが。

ただ、商店主や駅周辺の住民からの意見聴取はできると思うんです。それを定期的にやった上で、開発、もしくは活性化の目標を立てられるべきではなかろうかと私は考えるんですが、その辺、町長いかがでしょう。

議 長 町長。

町 長 私御商売やってる方からそういうのに近いような提案をいただいたこともございます。その中での昭和レトロのものを生かすとなると、固定化するよりもその前にイベントとして、例えば1週間とか、そういったようなものを商店街でやって、そしてそれにどのくらいの反応があるのか、また展開したときに御商売として成り立つのかどうか、採算性も考えて、そういったことからまず始めたいなというふうに思ってます。完全に、どっかそこを、ずっと何かするということになる、やはり今のお持ちの方の承諾というん

ですか、賃貸とか様々なことが起きますんで、なかなかこれに全ての方が賛同していただくということが難しい。今、ぽつぽつとお貸ししてるところもございますけども、私もそれを交渉した経験もございますんで、なかなかそこは難しいということは実感しておりますんで、やはりやるのであれば、何かのイベントとして、1週間とか、そういったような昭和レトロフェスティバルとか、あるいは何か分かりませんが、そういったようなものを企画することはこれから考えていきたいというふうに考えております。

議 長 瀬戸伸二議員。

3 番 瀬 戸 今後についてなんですけど、やっぱりニュートラルな部分で、町民からの話を聞くことが重要になってこようかと思うんです。その意味で先ほど定期的と申しましたけれど、話合いを持つことによって、新たな方向性も見えてこようかと思えますんで、ぜひとも町民との対話をお願いしたいと思えます。

議 長 町長。

町 長 分かりました。そのような方向で、ぜひ私も皆さんに協力をいただければというふうに思っておりますんでよろしく願いいたします。